

令和 8 年 6 月 3 日 通告

(代表質問)

質問日	令和 8 年 6 月 11 日 (木)		質問方式	分割方式			
質問順位	2	会派名	市民クラブ	議席番号	25	氏名	岩田 邦泰
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 来年度予算の考え方について	<p>市長は本年度の当初予算案に関する記者会見で「来年度の当初予算は統一地方選挙を控えた骨格予算。フルスペックの編成は現任期中これが最後」とし、本年 2 月の会派代表質問でも「骨格予算」の答弁があった。</p> <p>(1) 「骨格予算」の響きからは、相当に施策を絞り込んだ予算を想像するが、市長の考える「骨格予算」の範囲はどのようなものか。また、現在、世界は情勢不安の中にあり、本市を支える産業界やそこで働く仲間の心配は尽きない。選挙の年であっても、骨格予算にこだわらず、通常予算を組んでいくべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 市長が来期も続投を考えているならば、そもそも骨格予算を明言する必要はないと思う。本市将来像への考えを含め、来期も市長を目指す考えはいかがか。</p>						中野市長
2 中東情勢がもたらす浜松への影響について	<p>本年 2 月アメリカとイスラエルはイランを攻撃した。応じてイランも周辺国を巻き込むミサイル攻撃を行い、ホルムズ海峡を封鎖した。その後にはアメリカも逆封鎖を行うなど、中東情勢は一気に不安定となった。</p> <p>現在は停戦中とはいえ、多くの船舶がペルシャ湾内に留め置かれ、事態は膠着している。遥か遠くの軍事衝突であっても、間違いなく本市は多大な影響を受けていると感じることから以下伺う。</p> <p>(1) 本市の産業に対し、中東情勢が及ぼす影響をどのように分析しているか。対策の検討状況はいかがか。</p> <p>(2) ナフサ由来の資材を中心に入手困難、価格高騰などが発生している。医療面での課題の把握状況はいかがか。</p> <p>(3) 同様に道路・インフラ整備、修繕などの面の課題把握と対策はいかがか。</p> <p>(4) 同様に公共施設整備面の課題把握と対策はいかがか。</p> <p>(5) この状況が長引くと、税収の減少に繋がる産業界への悪影響は甚大と考えられるが、税収の見通しについてはいかがか。</p>						北嶋産業部長 板倉保健所長 加藤土木部長 鈴木財務部長 齊田税務担当部長
3 交通事故ワーストワン返上に向けた対策について	<p>違反自転車への青切符制度の導入など、道路交通法が改正された 4 月に開催された交通安全運動街頭広報に参加した際、自転車で通り過ぎる高校生は、ヘルメットの未装着者が多かった。警察によると「管内事故件数は減少傾向だが、自転車乗車時及び高校生の事故は減っていない」とのことで、本市が今重点的に対策すべき点はそこにあると考えることから、以下伺う。</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答 弁 者 の 職 名
	<p>(1) 5年前に自転車通行空間の対策を質した際、その後の整備計画について答弁があった。その進捗はいかがか。また、本年4月の道路交通法改正では、自転車の通行に関し大きな変化があった。変化に対応し整備計画も見直していくべきと思うが、考えはいかがか。</p> <p>(2) 市内の高校は県立・私立が多いが、生徒の多くは本市市民であることから、安全教育を各高校や警察にお任せではないかと考える。高校生の交通安全啓発に関する本市の考えはいかがか。</p> <p>(3) 本市も特定小型原動機付自転車を含む、16歳以上が利用可能なLUUPシェアリング事業が始まり、街中で姿を見るようになった。 ア シェアリングの事業者に対しても、交通安全施策へ積極的な関与を求めるべきと思うが、本市の考えはいかがか。また、特定小型原動機付自転車の販売も本格化してきているが、家電量販店などの「新たな販売者」への働きかけをどのように考えているか。 イ 主にLUUPシェアリングなどの特定小型原動機付自転車の安全利用に関する市の考えはいかがか。</p> <p>(4) 昭和中期には交通戦争と言われた時期があり、対策として国は「交通公園」を全国に設置して、幼児期からの交通規則を身に着けさせてきた。市内には中央区の相生公園と、浜名区の三ヶ日交通公園の2つがあるが、現在、安全教育に活用しているのか。また、交通法令の改正時には、改正を踏まえた対応をしてきているか。</p>	<p>加藤土木部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>磯部花みどり 担当部長</p>
<p>4 カーボンニュートラル施策にかかわる計画について</p>	<p>国の動向に合わせ本市が改定した「浜松市地球温暖化対策実行計画」には、市域全体にかかる「区域施策編」、市有施設運営にかかる「事務事業編」がある。温室効果ガス排出の削減に向けた本市の意欲的な目標が、今後の市民や企業の取組みをリード、かつサポートをしていくことに期待をしていることから、以下伺う。</p> <p>(1) 実行計画に掲げる意欲的な目標を必達するためには、リーダーシップやトップマネジメントが重要と考える。市長の思いや意気込みはいかがか。</p> <p>(2) 「区域施策編」は企業・事業者及び市民が対象だが、市域の全体での温室効果ガス排出量の約 2/3 を占める企業・事業者の排出削減目標の達成への取組みは、どのようなものか。</p> <p>(3) 「事務事業編」はZEB化、LED化、公用車EV化、再エネ電力化、地産のJクレジット活用など10の基本方針を掲げている。「区域施策編」で市内企業や市民に対し協力を仰ぐためにも、自ら模範を示す必要がある。どのように実行していくのか。</p>	<p>中野市長</p> <p>鈴木カーボン ニュートラル 推進担当部長</p> <p>〃</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 インド関連施策について	<p>昨年 11 月定例会もインド関連の質問をしているが、本年 5 月にも「インド・ハマツ・アドバイザー・コミッティ」が発足している。急速に進展している本市とインドの連携について、以下伺う。</p> <p>(1) 本コミッティ委員長に就任した市長の意気込み、及び長期的な展望はいかがか。</p> <p>(2) コミッティに参加するメンバー企業の具体的役割や今後の事業内容、及びメンバー以外の市内中小企業への波及効果についてはいかがか。</p> <p>(3) コミッティ発足前日にインド決済サービスUPIのセミナーが開催された。調べてみるとNTTデータ社がUPI国内導入へのトライアルを検討していることが分かった。このトライアルに対し、本市は鋭意参加していく必要があると思うが、考えはいかがか。</p>	<p>中野市長</p> <p>北嶋産業部長</p> <p>〃</p>
6 清掃工場付加価値事業等について	<p>天竜新清掃工場が完成した際、20 年後の建替え開始までの間、建替え予定地を有効利用するための付加価値事業を募集した。現在、既に事業は始まっていることと認識はしているが、不明点も多いことから、以下伺う。</p> <p>(1) 既に 2 年、期間の 1/10 が経過するところだが事業の進捗はいかがか。また、付加価値事業開始に至るまでに市に不利益はなかったか。</p> <p>(2) 現在、西部清掃工場でも建替えが行われているところだが、現在の工場跡地の次の 20 年を見据えた付加価値事業はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 熔融スラグに関し、本年の事業で肥料としての登録を受けることになっているが、進捗はいかがか。また土木資材としての J I S 認証について進捗はいかがか。</p> <p>(4) 肥料利用に関し、農業担当部門はどのように利用推進していくのか。</p> <p>(5) 昨年 9 月定例会の質問に対する答弁では、J I S 認証取得後の土木利用を環境部が関係部門に働きかけるとのことだった。本年、公共工事の熔融スラグ利用ガイドラインの改定などの働きかけはしているが、利用範囲はまだ狭い印象を持っている。循環経済を推進する本市は、もっと幅広な利用を推進すべきだが、環境部門の頑張りだけでは困難であると感じている。部局間連携を含め、利用拡大への考えを伺う。</p>	<p>上田環境部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>下位農林水産担当部長 内藤副市長</p>
7 佐鳴湖公園南岸の整備について	<p>現在、佐鳴湖公園の南岸の園路は未舗装区間であり、路面の凸凹や雨天のぬかるみで高齢者が足を取られるなど、園路の安全性・利便性に課題がある。本市は現在、佐鳴湖公園再整備基本計画を策定している最中と認識しているが、南岸の園路整備は、どのように検討し推進していくのか考えを伺う。</p>	<p>磯部花みどり 担当部長</p>